

第177回簿記能力検定試験

上級 商業簿記 解答速報

問題1

問1

(a)	評価
-----	----

(b)	仮
-----	---

予想配点：各4点

問2

(a) 勘定
割引手形 ^{※1}
裏書手形 ^{※1}

(b) 勘定
仮払金
仮受金

※1 社債発行差金、減損損失累計額でも可。

予想配点：各3点

問題2

損		益		(単位：千円)
仕入	[33,600]	売上	[48,000]	
営業費	9,300	ソフトウェア売上	960	
社債利息	[88]	受取配当金	38	
支払利息	[36]	(有価証券評価損益) ^{※3}	[30]	
棚卸減耗損	[200]	(法人税等調整額) ^{※3}	[7]	
商品評価損	[35]	(為替差損益) ^{※3}	[5]	
貸倒引当金繰入	[120]	(オプション差益) ^{※3}	[4]	
その他有価証券評価損	[20]	()	[]	
減価償却費	[990]			
社債発行費償却	[6]			
法人税等	1,200			
(減損損失) ^{※2}	[480]			
(ソフトウェア償却) ^{※2}	[750]			
(繰越利益剰余金)	[2,219]			
()	[]			
()	[]			
	[49,044]			
				[49,044]

※2は順不同

※3は順不同

閉鎖残高

(単位：千円)

現金	[8,427]	支払手形	2,700
当座預金	16,000	買掛金	[2,350]
受取手形	3,800	未払法人税等	[500]
売掛金	[2,200]	未払利息	[12]
破産更生債権等	[600]	借入金	[1,200]
売買目的有価証券	[930]	為替予約債務	[485]
買建オプション	[20]	受取手形貸倒引当金	[57]
為替予約債権	[540]	売掛金貸倒引当金	[33]
繰越商品	[2,765]	破産更生債権等貸倒引当金	[100]
備品	2,400	社債	[1,984]
車両	[2,520]	備品減価償却累計額	[1,050]
その他有価証券	[1,080]	車両減価償却累計額	[1,620]
ソフトウェア	[750]	資本金	23,000
社債発行費	[12]	資本準備金	2,900
(繰延税金資産)	[7]	利益準備金	1,200
()	[]	繰越利益剰余金	[2,760]
()	[]	(その他有価証券評価差額金) ※4	[65]
()	[]	(繰延税金負債) ※4	[35]
		()	[]
		()	[]
	[42,051]		[42,051]

※4は順不同

予想配点：各4点

問題1

	正誤	理 由
1.	×	一年基準が適用されるのは前払費用のみであり、未収収益については適用されない。
2.	○	
3.	×	工事収益総額、工事原価総額ならびに決算日における工事進捗度の3つが、信頼性をもって見積もる事ができなければならない。
4.	×	再調達原価を用いるのは一定の場合に限られ、原則としては、正味売却価額を用いる。
5.	○	
6.	×	数理計算上の差異は、予想される退職時から現在までの平均的な期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理する。
7.	×	割引後キャッシュ・フローの総額ではなく、割引前将来キャッシュ・フローの総額と帳簿価額を比較することによって行う。
8.	○	
9.	○	
10.	○	

予想配点：各4点

問題2

		用 語	
問 1	(a)	段階取得	
	(b)	支 配	
	(c)	時 価	
	(d)	持 分 法	

予想配点：各5点

		金 額	
問 1	(e)	630 万円	
	(f)	660 万円	

予想配点：各5点

問2

支配を獲得したことにより、過去に所有していた投資の実態又は本質が変わったものとみなし、その時点で投資が清算され、改めて投資を行ったと考えられるため、差額を当期の損益とする。

予想配点：6点

問題3

問 1

(計算過程) $25,000 \text{ 万円} + 4,400 \text{ 万円} - 3,800 \text{ 万円} = 25,600 \text{ 万円}$
当期商品仕入高 (答) 25,600 万円

予想配点：6点

問 2

(計算過程) $3,200 \text{ 万円} + 4,200 \text{ 万円} + 25,600 \text{ 万円} - 4,800 \text{ 万円} - 3,600 \text{ 万円} = 24,600 \text{ 万円}$
当期の仕入支出 (答) 24,600 万円

予想配点：6点

問 3

(計算過程) $2,500 \text{ 万円} + 3,700 \text{ 万円} + 30,500 \text{ 万円} - 8,300 \text{ 万円} - 7,300 \text{ 万円} + 2,200 \text{ 万円} = 23,300 \text{ 万円}$
当期の営業収入 (答) 23,300 万円

予想配点：6点

問 4

前期末の受取手形及び売掛金の期末残高に比べて、当期末の受取手形及び売掛金がかなり増えており、資金の回収が遅れていることが原因に考えられる。

予想配点：6点

第177回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問1

製品単位当たり標準変動製造費	7,200 円
半製品単位当たり標準変動製造費	3,000 円

予想配点：各5点

問2

月末仕掛品標準原価	1,176,000 円	月末製品標準原価	1,296,000 円
標準売上原価	6,720,000 円		

予想配点：各3点

問3

直接材料費	価格差異	53,000 円 (借方差異)
	数量差異	15,000 円 (貸方差異)
第1工程 直接労務費	賃率差異	37,000 円 (貸方差異)
	時間差異	35,000 円 (借方差異)
第1工程 変動製造間接費	予算差異	18,500 円 (借方差異)
	能率差異	17,500 円 (借方差異)

予想配点：各2点

問4

第2工程仕掛品—直接労務費

(単位：円)

前月繰越 (720,000)	(製品)	(2,250,000)
賃金 (1,748,000)	(賃率差異)	(23,000)
() ()	(時間差異)	(15,000)
() ()	(次月繰越)	(180,000)

予想配点：各2点

問5 利益計算において控除する金額の前にはすべて△をつけなさい。

月次損益計算書

(単位：円)

売上高	(12,100,000)
標準売上原価	(△ 6,720,000)
標準変動製造マージン	(5,380,000)
標準変動販売費	(△ 525,000)
標準 (貢献利益)	(4,855,000)
変動費差異	(△ 53,000)
実際 (貢献利益)	(4,802,000)
固定製造間接費予算	(△ 1,900,000)
予算差異	(5,000)
固定販売費・一般管理費予算	(△ 800,000)
予算差異	(△ 21,000)
営業利益	(2,086,000)

予想配点：各3点

問6

損益分岐点売上高	6,918,026 円
----------	-------------

予想配点：10点

問7

	第1工程	第2工程
予算差異	12,000 円 (借方差異)	17,000 円 (貸方差異)
能率差異	22,500 円 (借方差異)	8,000 円 (借方差異)
操業度差異	67,500 円 (借方差異)	80,000 円 (借方差異)

予想配点：各2点

問8 調整計算において控除する金額の前に△をつけなさい。

(単位：円)

直接標準原価計算による 実際営業利益	3,200,000
期末分固定製造間接費	(807,000)
期首分固定製造間接費	(△ 1,562,000)
全部標準原価計算による 実際営業利益	(2,445,000)

予想配点：各5点

問9

異常な状態に基づく差異を除き、予定価格等が不適当なため、比較的多額の
原価差異が生ずる場合に、棚卸資産と売上原価に追加配賦する必要がある。

予想配点：10点

第177回簿記能力検定試験

上級 原価計算 解答速報

問題1

問1

- (1) 円
- (2) 円
- (3) 円
- (4) 円 予想配点：各5点

問2

- (1) 円
- (2) 円
- (3) 円
- (4) 円 予想配点：各5点

問3

案を採用するべき 予想配点：10点

(a) 旧機械を使用し続けた場合の正味現在価値

円

(b) 旧機械を売却し、新機械を購入した場合の正味現在価値

円 予想配点：各5点

問題2

問1 年 予想配点：5点

問2 収益性指数が なので、
設備投資を[行うべき 行うべきでない] (どちらかを丸で囲む) 予想配点：5点

問3 % 予想配点：5点

ので、
設備投資を[行うべき 行うべきでない] (どちらかを丸で囲む) 予想配点：5点

問4 [常に正しい, 常に正しいとは言えない] (どちらかを丸で囲む)
常に正しいとは言えないを選択した場合、正しくなくなる可能性が生じる事例

数度にわたって投資が行われるなどの理由により、複数の内部利益率が計算される場合

予想配点：10点

問5

総資本額に占める各調達源泉別資本額の構成割合を重み付けに使用して、自己資本コストを他人資本コストの平均を計算する。

予想配点：10点

ネットスクール WEB 講座のご案内

第 177 回全経簿記能力検定上級の受験、お疲れ様でした。

ネットスクールの WEB 講座では、今回の試験を受けてこの後の進路・学習についてアドバイスを行う“**無料説明会**”を開催いたします。

WEB 講座と同じシステムを使い、インターネットを通じて Live 配信を行います。Live 配信では、アンケートやチャットを通じて講師とのコミュニケーションをとることもできますので、気になることがあれば、ぜひご参加頂き、講師にご相談下さい。

試験が終わってホッと一息つきたいところだとも思いますので、力を抜いてご参加頂ければ幸いです。

イベント名	日時	内容
全経簿記上級受験者のための 日商簿記1級&税理士 WEB 講座 無料説明会	2月25日(水) 20:30～ (Live 配信)	第 177 回全経簿記上級試験に向けて学習した成果を活かして、6月の日商簿記1級や8月の税理士試験に挑戦するための効率的な学習プランをお届けします。(担当：中村雄行)

※日程は予告無く変更する場合がございます。詳しくは、ネットスクールホームページにてご確認ください。

※Live 配信を行った無料説明会は、翌日以降オンデマンド配信も行います。

WEB 講座 Live 講義画面はこんなにすごい!

1 講師画面
講師が直接講義を行います。臨場感あふれる画面です。

3 ホワイトボード画面
板書画面です。あらかじめ準備された「まとめ画面」や「資料画面」に講師が書き込んでもらいます。もちろんプリントアウトも出来ます。

2 チャット画面
講師へのメッセージはいつでもどうぞ! 「質問」はもちろん「今のところもう一度説明して!」など、受講生からのお願いも OK です。

4 アンケートボタン
講師から「今のところわかりましたか?」などの確認をしたり、「皆さんに聞きますね」などの問いかけに使います。

学びやすさがスゴイ!!
だから続けられる、合格できる

ライブ講義では、
チャットで質問OK

見逃しても大丈夫!
オンデマンド配信

電話・メール・SNSで
質問・相談受付

詳しくは、ネットスクールホームページ(<http://www.net-school.co.jp/>)をご覧ください。

【お問い合わせ】 0120-979-919(平日 10:00～18:00)